令和元年度　第５回
五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民検討委員会のまとめ

五泉市
企画政策課

■開催概要

平成 27 年に「五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定し人口減少問題に取り組んできました。国は令和元年６月に「まち・ひと・しごと創生基本方針２０１９」で第２期総合戦略を策定することとなりました。

五泉市でも引き続き人口減少問題に取り組んでいくため、各分野の方々からご意見・ご提案をいただき、令和２年度からの「第２次五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定します。

日　　時	第５回 令和２年１月２８日（火） 午後２時～２時５０分
会　　場	五泉消防署
参加委員	１２名 （産学官金労言士の各分野計２０名で構成）
内　容	●説明 （１）国人口ビジョン・第２期総合戦略について （２）パブリックコメントの結果について （３）第２次人口ビジョン・総合戦略（案）について ●意見交換 「第２次人口ビジョン・総合戦略（案）についての意見・提案」

■意見交換

「第２次人口ビジョン・総合戦略（案）についての意見・提案」

・基本目標Ⅲの基本方針１の施策①「地域資源の活用と観光の推進」の新規事業としている「廃校利活用事業」の概要を教えていただきたい。
→同施策の合宿誘致促進事業と併せて、大学生の合宿場所としての活用なども考えられる。それだけに限らず有効に活用できることを考えていく。

・「特色ある教育」の新規事業として、「地域学校連携事業」と「総合学習支援事業」があるが、他市町村とはどのように差別化していくのか。県内でコミュニティスクールを導入していない市町村もあるのか。
→努力義務化のため導入していない市町村もある。また、導入している市町村に視察にも行っているが、学校と地域の連携を進めることにより、子どもが地域に根付き、学力の向上を目指すものであり、いかに五泉市の教育を充実させるかに着眼しており、他市町村との差別化という視点までは考えていない。

・既存の「寺子屋事業」による学力向上は小学生のことを指していると思うが、中学生の学力向上に対する取り組みが見えないため、「地域学校連携事業」で含めていただきたい。

・教員免許がなくてもできる仕事を地域のアクティブシニアの方々にお願いすることで、教員の仕事の負荷を軽減し、より充実した授業をしてもらう。また、アクティブシニアの方々も子どもたちの笑顔を見て元気をもらう。といった好循環が生まれるような「地域学校連携事業」の方向に向かっていただきたい。おそらく他市町村との差別化になると思うので、ぜひ五泉市独自を開発していただきたい。